

ルール講習会

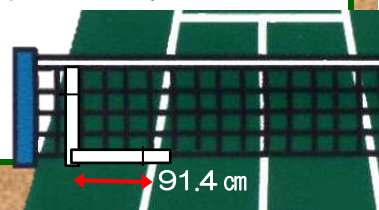


第2講座では、大会運営に関係する競技・ジュニア委員会の参加者と共に
ルールの統一・確認を行いました。皆さんももう一度復習してみましょう。



まずは、基本的なことのおさらいです。

- **ネットの中央の高さ**→91.4 cm
- **シングルスポールの立て方**→シングルスコートのサイドラインの外側から 91.4 cmの位置に、シングルス・スティックの中心線がくるように置き、ネットを挟んで交互に立てる。
- **トスの選び方**→サーブ、レシーブ、エンド、相手に選択してもらう。
- **基本の時間**→20 秒(ポイント間)、90 秒(エンドチェンジ)、120 秒(セットブレイク)
*90 秒のエンドチェンジは、前のポイントが終わって、次のゲームのサーブを打つまでの時間です。ベンチでいる時間が90 秒ではないよ。



Q & A (セルフジャッジの場合)

- Q1 トスをしてウォーミングアップが終わった時、急に雨が降ってきて中断しました。雨が止み再開する時に、トスの選択を変更したいと言って来ました。変更できますか？
A) できる。試合が始まっていないので、トスの結果は変わらないが選択をやり直すことができる。
- Q2 サーバーがトスアップをしながらベースラインを踏んだが、そのボール打った瞬間は飛び上がっていてベースラインを踏んでいなかった。フットフォルトにはならない？
A) フットフォルトになる。サービスのモーション（開始から終了まで）の間は、一度でもラインを踏んではいけない。
- Q3 試合中、相手選手が明らかにノットアップだと思いプレーを止めたが、その選手は正しく返したと言った。どうなりますか？
A) プレーを止めた選手の失点になります。（自己申告なので、対戦相手が判断を認めない限り、プレーは続けなければならない）
- Q4 ダブルスの試合で、ラリー中にチームの2人が次々に帽子を落とした。失点しますか？
A) 失点しない。レットをかければ警告になる。（一人目でレットがかかればプレーが中断しているため二人目はカウントされない）
- Q5 高く上がったロブを追いかけていた時、隣からボールが入って来たのでレットをコールした。選手は追いかけるのを止めたが、そのボールはアウトした。どうなりますか？
A) アウトした選手の失点になります。（ボールを打つ前にレットがコールされた場合はやり直し。）



間違いの訂正

- 1 **サーブの間違い**
 - ・サーブのサイド・エンドを間違った時 →気付いたら、直ちにスコアに応じたサイド・エンドからサーブをする。
 - ・サーブの順番を間違った時 →スタンダード・ゲーム中…気付き次第本来のサーバーに戻る。しかし、気付いた時すでにゲームが終了していた場合は、入れ替わったままの順番で続ける。
→タイブレイク・ゲーム中…偶数ポイントが終わった時に気付いたら、直ちに正しい順番に戻る。奇数ポイントの時に気付いたら、入れ替わったままでプレーする。
- 2 **レシーブ隊形の違い** ダブルスの試合で、パートナー同士のレシーブ隊形が入れ替わっていることに気付いたら、そのゲームだけは間違っただけの隊形でプレーし、次のレシーブゲームの時に本来の隊形に戻す。（タイブレイクの時は、タイブレイクが終わるまで間違っただけの隊形）
- 3 **ノーアド方式の違い** ノーアドの試合でデュースの後、間違えて1ポイントプレーした。→次のポイントプレーし、先程ポイントした選手が続けて取れば、その選手の勝ちでゲーム終了。反対の選手が取ればデュースになり、ここでノーアドに切り替えて1ポイントプレーし、ゲーム終了とする。
- 4 **タイブレイクゲーム忘れ** 6ゲームオールでタイブレイクゲームのはずが、忘れて通常ゲームでやってしまい76になった。→そのまま続けてゲームをし、86でゲーム終了。88になったらタイブレイクを行う。（8ゲームオールまたはそれ以上の偶数ゲームでタイブレイクを行う。）



いかがでしたか？知らないこともありましたか？

正しいルールとコートマナーで気持ちよくゲームを進めましょう！